

授業改善等に関する報告書（2024 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
アジア文化論	高橋 美和	数値の中で平均を若干下回ったのは「この分野・系をさらに学びたいか」「意欲的に取り組んだか」でした。もともと東南アジアに興味関心がある方は非常に意欲的に課題やテストに取り組み、そうでない方の興味を引き上げることに成功できなかったのかな……ということかもしれません。一方、コメントを見ますと、アジアの文化に興味を持てた、多くを学んだというコメントが非常に多く、楽しく学べていたようなので、良かったです。
キャリア・マネジメント論	初見 康行	本講義では「キャリア・マネジメント」をテーマに、社会の変化やキャリア理論、女性のキャリア開発を学んできました。 オンデマンドの講義でしたが、「キャリアについて詳しく学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた」、「レスポンスやGoodリアクションペーパーを共有してくれたので、他の人の考えが分かって参考になった」などのコメントがありました。 ぜひ自分のキャリアに関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.87でした。また、「11. 成長実感」が4.74、「13. この分野をさらに学びたい」が4.79、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.84でした。 多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。改善点として、より双方向的な講義をして欲しいという要望がありました。今後改善していきたいと思います。皆さん回答ありがとうございました。
コミュニケーション概論(G・H・I・J・K・L・Mクラス)	高木 裕子	コミュニケーション力を付けて頂くために、敢えて規定の評価項目からずらすことで内容構成をしました。如何だったでしょうか。コミュニケーションという大きな領域の本質や意味がわかり、その目的や効果を実体験することができましたでしょうか。
ジェンダーの人類学	高橋 美和	回答率が37.1%ですので、全員の意見とは言えませんが、全ての項目で平均を若干ですが上回りましたので、まずまずの結果だと思います。ジェンダーに元々興味があった方々も、はじめてジェンダー関連を学んだ方々の両方がおられました。最後まで強い関心をもって授業資料（動画）を視聴し、課題に取り組んでくださったようです。提出された期末レポートも、それぞれ意欲的なテーマで書かれており、読みごたえがありました。
ジェンダー論	山根 純佳	受講者全員が理解できるようわかりやすい授業作りを工夫したい
フィールドワーク論	高橋 美和	数値的にはごくごく平均的な評価でした。個人ワーク・グループワークともに多岐にわたるアクティブ科目でしたが、いただいたコメントによれば、特にグループワークから得たものは多かったようですね。また、「意欲的に／楽しく課題に取り組み、そこから様々な学び／気づきがあった」というコメントが複数ありました。良かったです。
プログラミング基礎	今田 一希	様々なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見はプログラミング基礎に限らず来年以降の講義作成の参考とさせていただきます。 プログラミングは講義を受けただけでは何の役にも立ちません。大学生活や、実生活の何かしらに活かしてみただけなら幸いです。
メディア・ワークショップ	田中 瑛	この授業では、対話を必要とする社会課題を自分たちで考え、対話を促すためのメディアを自分たちで設計・制作し、展示しました。最終的に出来上がった作品はどれもそのトピックについてさまざまな視点を浮き彫りにするもので、短い期間でこれだけのものを完成できること自体が素晴らしいことです。また、トピックも媒体の種類も異なる他の制作班の作品を相互に見ることで得るものが大きかったのではないかと思います。 最初の回にお伝えしたように、他の授業とは異なり、あえて毎回ノープランにして皆さんの主体性に委ねて授業を進めました。こちらの期待を上回る勢いで楽しみながら取材や制作に取り組んでいる様子を見ていて、とても嬉しかったです。相手に何をどのように伝えるのかを真剣に考えた経験はきっとどこかで活きますと思いますので、自信を持って色々なことに取り組んでみてもらえればと思います。
メディア心理学	駒谷 真美	まず「メディア心理学」がアンケート全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。教員として今後の励みとしたい。 履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。乳児からシニアまで発達段階に応じたメディアの理論と様相について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、NHK「天才てれびくん」のプロデューサー講演を元に子ども番組の意義について課題を出したが、ゲストから高い評価を得ていた。 この講義を通して学んだメディア情報リテラシーを糧に、不確実性時代（VUUCA）を生き抜いていってほしい。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
メディア表現	駒谷 真美	この講義は、「人間社会学部学科紹介インスタ動画制作」という8年ぶりの学部プロジェクトであった。まず履修生はプロの動画クリエイターからワークショップで指導を受けスキルを体得した。中盤で本学生涯学習センターのレクチャー「シニアのための初めての動画づくり」では履修生自らがファシリテーターとして積極的に参加し、シニアたちから高評価を得た。その後は6チームに分かれてプロジェクトを遂行した。「学生生活」「学部学科」「就活」「時間割」「ゼミ」「教員」について、25本の動画を制作した。2025年4月から公開予定である。このプロジェクトを体験した履修生たちが、自己成長度・学習発展度・自己評価度・満足度・意欲度全てにおいて自分自身を高く肯定してくれたことが何よりである。
リーダーシップ開発 a	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
異文化理解	阿佐美 敦子 時田 朋子	グローバル化が進む現在、異文化を理解する力は非常に重要です。授業で学んだ視点を生かして、異文化と出会い、異文化との関わりを深めてください。（時田朋子） 本科目は数年ぶりに対面での実施となり、履修者数は少なくなったものの、本気で学びたいと気持ちで履修された方がほとんどなのではないかと思っています。「自身の成長を実感できた」と回答した方が62.5%(とてもよくあてはまる)、37.5%(どちらかというにあてはまる)だったことから、真剣に取り組んでくださった様子が見て取れます。来年度もよりアップデートした内容で皆さんの期待に応えられるよう努力します。（阿佐美敦子）
英語コミュニケーションⅠ a（人部2クラス）	時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。授業外でも英語に積極的に触れるように心がけてください。
英語コミュニケーションⅠ a（人部5クラス）	阿佐美 敦子	回答してくださった皆さん、ありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」20%、「どちらかというにあてはまる」66.7%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方が、「よくあてはまる」40%、「どちらかというにあてはまる」46.7%であったことは、必修科目であるにみ関わらず比較的好ましい結果だったと思います。一方で、この授業の理解度については40%の方が「どちらともいえない」と、6.7%の方が「まったくあてはまらない」と回答しており、あらためて英語習得の難しさを考えさせられました。来期は一層にわかりやすい説明等を加え、理解度を上げるよう努めます。
英語コミュニケーションⅠ a（人部6クラス）	阿佐美 敦子	回答してくださった皆さん、ありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」47.1%、「どちらかというにあてはまる」47.1%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方が、「よくあてはまる」70.6%、「どちらかというにあてはまる」29.4%であったことは、必修科目であるにみ関わらず比較的好ましい結果だったと思います。一方で、この授業の予習復習時間については35.3%の方が「1時間未満」と、29.4%の方が「30分未満」と、5.9%の方が「なし」と回答しており、あらためて自学習の不足を考えさせられました。来期は予習復習がもう少し必要になる内容を考慮し、皆さんが英語を学ぶ時間を増やすよう努めます。
英語コミュニケーションⅠ a（人部8クラス）	時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。授業外でも英語に積極的に触れるように心がけてください。
英語コミュニケーションⅡ B (G2クラス)	阿佐美 敦子 マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	回答してくださった皆さん、ありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」50%、「どちらかというにあてはまる」12.5%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方が、「よくあてはまる」50%、「どちらかというにあてはまる」25%であったことは、必修科目であるにみ関わらず比較的好ましい結果だったと思います。一方で、この授業の理解度については50%の方が「どちらともいえない」と回答しており、あらためて英語習得の難しさを考えさせられました。来期は一層にわかりやすい説明等を加え、理解度を上げるよう努めます。
英語コミュニケーションⅡ B (G3クラス)	時田 朋子 シオティーノ, アン	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。共通教育の英語の授業なども受講してくださいね。
英語コミュニケーションⅡ B (G4クラス)	時田 朋子 ミラー, ブルース	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。共通教育の英語の授業なども受講してくださいね。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡB（J1クラス）	富倉 教子 グティエレズ, ティモシー	貴重なご意見をありがとうございました。アンケートを通して皆さんが今学期どのようなところに自身の成長を感じ、またクラスに対してはどのようなところを期待または必要としているかなどが分かりました。今回いただいた意見を参考に、今後も引き続き、楽しくかつ英語力向上に少しでも協力できるよう、努力していきたいと思います。
英語コミュニケーションⅡB（J2クラス）	阿佐美 敦子 ライト, アレックス	回答してくださった皆さん、ありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」53.8%、「どちらかというにあてはまる」23.1%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方が、「よくあてはまる」76.9%、「どちらかというにあてはまる」7.7%であったことは、必修科目であるにみ関わらず比較的好ましい結果だったと思います。一方で、この授業の理解度については38.5%の方が「どちらともいえない」と回答しており、あらためて英語習得の難しさを考えさせられました。来期は一層にわかりやすい説明等を加え、理解度を上げるよう努めます。
英語コミュニケーションⅡB（J4クラス）	富倉 教子 ライト, アレックス	貴重なご意見をありがとうございました。アンケートを通して皆さんが今学期どのようなところに自身の成長を感じ、またクラスに対してはどのようなところを期待または必要としているかなどが分かりました。今回いただいた意見を参考に、今後も引き続き、楽しくかつ英語力向上に少しでも協力できるよう、努力していきたいと思います。
演習Ⅰ（Aクラス）	田中 瑛	この授業では紀伊國屋書店との提携による課題解決型学習（PBL）を通じて、課題を発見し、解決策を提案するまでの一連のグループワークのプロセスを体験しました。どの班も広がりが見通せる素晴らしい提案に漕ぎ着けたと思いますし、実際に身近なところから実装してみたら面白いのではないかなと思うものもありました。 アンケートではグループワークや発表の苦手意識が払拭できたという声が多く聞かれました。自分自身の意見を他の人と共有し、他の人の意見に耳を傾けながらより良いものを作り上げていく経験は、今後も授業を楽しんで受講する上で重要になるとと思いますので、自信をつけていってもらえれば嬉しいです。
演習Ⅰ（Bクラス）	筒井 晴香	アンケートへの回答ありがとうございました。 この授業ではグループ活動でPBLに取り組んでいただきました。易しい課題ではありませんでしたが、やりがいを感じていただけたのではないかと思います。話し合いやプレゼンの経験をぜひ来年度以降に活かしてください。
演習Ⅰ（Cクラス）	今田 一希	グループによるPBLおよびその準備を体験することを目的とした授業を行ったため、頻繁にグループが組み変わるなど他の講義ではなかなかない形式であり大変だったとは思いますが、最終発表および課題では各々とてもよい成果報告をしてくれたと思います。 課題解決までのプロセスは今回扱ったものがすべてではありませんが、そのための1つの経験として、今後に役立ててもらえればと思います。
演習Ⅰ（Dクラス）	今田 一希	グループによるPBLおよびその準備を体験することを目的とした授業を行ったため、頻繁にグループが組み変わるなど他の講義ではなかなかない形式であり大変だったとは思いますが、最終発表および課題では各々とてもよい成果報告をしてくれたと思います。 課題解決までのプロセスは今回扱ったものがすべてではありませんが、そのための1つの経験として、今後に役立ててもらえればと思います。
演習Ⅰ（Eクラス）	筒井 晴香	アンケートへの回答ありがとうございました。 この授業ではグループ活動でPBLに取り組んでいただきました。易しい課題ではありませんでしたが、やりがいを感じていただけたのではないかと思います。話し合いやプレゼンの経験をぜひ来年度以降に活かしてください。
演習Ⅰ（Fクラス）	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
演習Ⅰ（Gクラス）	篠崎 香織	ディベート、論文の書き方、社会連携の3本柱で進めました。ディベートは、思考力、情報収集と集約力が鍛えられるので、もう少し時間をとり丁寧やれると良かったです。 Can詰めPJでは企業様に受け容れられる難しさを実感してもらえたと思います。 力のある学生さんの集まったクラスでした。 引き続き頑張ってください。
演習Ⅰ（Hクラス）	神山 静香	すべての項目で100%の回答者から肯定的な評価と全体平均を上回る評価をいただき、また、多数の肯定的なコメントをいただきありがとうございました。特に、自分自身の成長を実感できたかとの質問項目について、「とてもよくあてはまる」と回答した方が7割を超え、大変嬉しく思いました。今年度の評価は次年度に活かしていきたいと思います。
演習Ⅰ（Iクラス）	井上 綾野	はじめて取り組んだディベートでは、少しずつ意見が言えるようになってきたのがとても良かったです。この経験を、次年度に活かしてください

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅰ（Jクラス）	原田 謙	自分自身でテーマを決めて、資料収集を行い、発表するというのが初めての学生もいたと思いますが、それぞれ成長と今後の課題を感じることができたようです。2年次以降に、この演習で学んだ方法等を活かしてください。
演習Ⅰ（Kクラス）	竹内 美香	人間社会学部では、すべての学年に必修の演習が設定されています。グループメンバーと共に、考えて、深く話して、お互いの考えを尊重して理解し、取り入れ、新しい考えを出し、情報発信できるレベルまでまとめ上げる、そのプロセスが何よりも大切な課題、1つめはプロジェクト・シミュレーション、2つめは「正解の無い課題」に取り組みました。全員が力を合わせて2つの課題に最後まで到達することができました。 1つめの「プロジェクト・シミュレーション」課題、2つめの「(きまりきった)正解がない課題」はいずれも昨今のビジネス研修で注目される課題です。 ■課題のポイント 1) □プロジェクト・シミュレーション」課題では、与えられた条件(ルール)の中で、現実性と創造性・独自性を目指す課題です。「シミュレーションの範囲」と限定しないで、出来る限り面白がって自我関与を高められた班の企画が他班からも高く評価されたことを覚えておきましょう。 2) □正解のない課題」では、生成AIと人間のあり方を考えました。この時、「感情」は重要なキーワードになりそうだということがわかりました。生成AIも「感情の表現」を模倣して出力することができるようになるかもしれません。「感情」とは何か、改めて問われる課題でした。身体論としてAIが語られることは多いのですが、その理由も、究極、この課題に人間の身体が重要だからでしょう。 3) □日常で言うなら、「知識情報はPCとネットがあれば、指一本で集めることはできる(第一課題では、このスキルを実践してみました)」けれど、「現場に自分の身体を運んで行って、身体感覚として体験すること」は、単なる情報収集を超えたものがある(スキルを獲得したら、次は現実の社会での実用)、ということはいえそうです。 演習で仲間と対面でグループワーク、顔と顔を合わせてディスカッションしたことは、情報収集以上の価値ある体験です。これからも、ぜひ、若い日々に、ご自身の身体を駆使して、たくさんの体験を求めて生きましょう。 授業アンケート回答では、「自分の成長」を感じたという回答が多数派で、嬉しい限りです。 皆さんと学んで、楽しい2024年度後期でした。ありがとう。
演習Ⅰ（Lクラス）	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。 クラス機能をもつ1年生の演習授業ということで、大学を楽しむための人間関係づくりにも力を入れてきました。毎回の入念なグループワークがお役にたてたようで安堵しています。その他、「自身の成長が実感できた」「意欲的に取り組めた」で非常に肯定的な回答をいただきました。2年生以降は3学科に分かれてしまいますが、本科目で学んだ基礎スキルを専門的な学び・研究に活かしていけることを願っています。
演習Ⅰ（Mクラス）	標葉 靖子	アカデミック・スキルズの一つである、調査、問題設定、根拠に基づく主張、プレゼンテーションの一連のプロセスをグループ学習主体で扱ってきました。コミュニケーションに苦手意識がある方もいるかもしれませんが、グループへの貢献方法は様々です。継続して学んでいってください。
演習Ⅱ B（Aクラス）	山根 純佳	全員が意欲的に授業に取り組めるよう授業作りを工夫したい
演習Ⅱ B（Bクラス）	粟津 俊二	総合的な満足度が4.5以上ですので、大きな問題はなかったと判断します。
演習Ⅱ B（Cクラス）	標葉 靖子	入門書ではありましたが、事前に作成した読書ノートをもとにグループでディスカッションしていく講読は、学術書を丁寧に読み解き、自らの意見を論理的かつ解像度高く明かにしていく良い練習になるものです。普段馴染みのない分野（本演習の場合は「生命倫理」）だったかもしれませんが、皆さんの視野を広げると共に、広く「読む」「対話する」力の涵養になっていることを期待します。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB (Dクラス)	竹内 美香	人間社会学部では、すべての学年に必修の演習が設定されています。2年次になって、「人間社会学科」に進級した皆さんとの演習で、少し専攻コースに合う課題を、とを考えました。2つの課題のうち、2つめの「正解のない課題」のコンテンツは、正に私の専門とする心理学の分野でもup-to-dateな考察ポイントが含まれるものとなりました。皆さんから出て来た考察で、こちらも改めてこのテーマの本質を見直しました。 以下、今期の演習について、総括します。 演習では、グループメンバーと共に、考えて、深く話して、お互いの考えを尊重して理解し、取り入れ、新しい考えを出し、情報発信できるレベルまでまとめ上げる、そのプロセスが何よりも大切な課題、1つめはプロジェクト・シミュレーション、2つめは「正解の無い課題」に取り組みました。全員が力を合わせて2つの課題に最後まで到達することができました。1つめの「プロジェクト・シミュレーション」課題、2つめの「(きまりきった)正解がない課題」はいずれも昨今のビジネス研修で注目される課題です。 ■課題のポイント 1) □プロジェクト・シミュレーション」課題では、与えられた条件(ルール)の中で、現実性と創造性・独自性を目指す課題です。「シミュレーションの範囲」と限定しないで、出来る限り面白がって自我関与を高められた班の企画が他班からも高く評価されたことを覚えておきましょう。 2) □正解のない課題」では、生成AIと人間のあり方を考えました。この時、「感情」は重要なキーワードになりそうだということがわかりました。生成AIも「感情の表現」を模倣して出力することができるようになるかもしれません。「感情」とは何か、改めて問われる課題でした。身体論としてAIが語られることは多いのですが、その理由も、究極、この課題に人間の身体が重要だからでしょう。 3) □日常で言うなら、「知識情報はPCとネットがあれば、指一本で集めることはできる(第一課題では、このスキルを実践してみました)」けれど、「現場に自分の身体を運んで行って、身体感覚として体験すること」は、単なる情報収集を超えたものがある(スキルを獲得したら、次は現実の社会での実用)、ということはいえそうです。 演習で仲間と対面でグループワーク、顔と顔を合わせてディスカッションしたことは、情報収集以上の価値ある体験です。これからも、ぜひ、若い日々に、ご自身の身体を駆使して、たくさんの体験を求めて生きましょう。 授業アンケート回答では、「自分の成長」を感じたという回答が多数派で、嬉しい限りです。 皆さんと学んで、楽しい2024年度後期でした。ありがとう。 次年度、専門ゼミに進みましたら、今期の取り組みで得たスキルや自信を、さらに磨いてください。期待しています。
演習ⅡB (Eクラス)	駒谷 真美	この講義の前半は、2年次がゼミ選択の時期であるゆえ、ゼミで学びたいことについて、卒論活動の同様のプロセスで、mindmap・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、ゼミ選択の契機になっていた。 後半は、グループワークでPBLを実施した。大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の応援プロジェクトをOODAループの方略で行った。2年生には高度な内容であったが、履修生は積極的に取り組み、Z世代の斬新な企画を出していた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていた。 その結果が、自己成長度・自己評価度・満足度・意欲度において全体や当該区分平均値を大きく上回る高数値として表れていた。グループの企画は、着々と実現している。1班は阿佐美ゼミとのコラボ企画をラジオのインタビューやグローバルラウンジでの動画公開、2班はラジオのインスタのサムネをバージョンアップ、3班はグッズ展開としてステッカー制作し付属高校・卒業生・新入生に配布、4班は大学のアプリで情報公開、5班はフォトスポットの企画をそれぞれ実践している。履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。
演習ⅡB (Fクラス)	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習ⅡB (Gクラス)	井上 綾野	最初は戸惑いも多かったと思いますがケーススタディのやり方が身に付いてきたようで、とても良かったです。
演習ⅡB (Hクラス)	角本 伸晃	テキストの輪読やチームに分かれて、PBLに取り組みました。その結果、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」では4. 71と、当該区分平均の4. 39を上回りました。引き続き、アクティブラーニングの工夫をしていきたいと思っています。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB（Iクラス）	吉田 雅彦	満足度100%でした。 以下のコメントを含め、うれしく思います。 授業を受けて良かったこと プレゼンテーションで使用する資料や正しい引用の記載の仕方などを学習できて、とても充実した講義でした。 改善を希望する点 なし 具体的に成長を実感したこと 課題や問題を論理的に考える力が身についた。 違いを見つけ、論理的に考えることができた。 現地調査を通して企業の戦略を知るきっかけになったり、データを使用してプレゼンテーションを行ったりすることで卒業論文や就職活動の基盤を身につけることができたと感じます。
演習ⅡB（Jクラス）	初見 康行	本講義では「業界・企業研究」をテーマに、企業を比較する際の視点や手法を学んできました。 座学中心の講義でしたが、「業界や企業の研究においてどういうところに注目すべきかわかった」、「就職活動のリアルを知ることができて、非常に刺激のかつ実践的な講義でした」などのコメントがありました。 ぜひ将来の就職活動にも活かしていってもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.90でした。 また、「11. 成長実感」が5.00、「13. この分野をさらに学びたい」が4.80、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.90でした。 多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。 回答ありがとうございます。
演習ⅢB	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習ⅢB	篠崎 香織	主体的に動くことで思うようにいかないことがわかる、思いもかけない反応をほかのゼミ生からもらえるなどの経験ができます。ぜひ、各自が少し先を思い描き、それに向かって計画的に活動して欲しいです。協力は惜しみません。 新年度も頑張っていきましょう！
演習ⅢB	山根 純佳	全員が意欲的に取り組めるよう授業作りに工夫したい
演習ⅢB	粟津 俊二	回答者2名でした。総合的な満足度が4以上ですので、大きな問題はなかったと判断します。
演習ⅢB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習ⅢB	原田 謙	後期は、各自のフィールド＆テーマに基づいて興味深いゼミ論文が作成できました。春休みに卒業研究の計画を立てましょう。
演習ⅢB	広井 多鶴子	みなさん、レポートの作成や発表に真摯に取り組みました。 そのため、満足度も高く、成長も実感できたようです。 ただ、欠席回数がやや多かったのが気になります。 4年のゼミでは、体調管理に気をつけて、休まないようにしてください。
演習ⅢB	初見 康行	演習ⅢBでは、「女性の仕事・働く」をテーマにゼミ運営をしてきました。 講義の前半では夏季休業中に参加したインターンシップの成果発表を行い、後半は4年生の卒論発表会に参加しました。 来年度は皆さん自身が卒業論文を書く番になります。 就職活動と卒業研究で忙しくなるとは思いますが、悔いのない大学生活を送るために頑張っていきましょう。
演習ⅢB	時田 朋子	後期はプロジェクトを中心とした授業でした。いかがでしたか。楽しくも大変だった、でしょうか。大きく成長できたと思います。4年生での卒論も頑張りましょう。

〔2024（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	阿佐美 敦子	ゼミ生の皆さん、ご回答をありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」100%であったこと、この授業に満足したと答えた方が、「よくあてはまる」100%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方がも、「よくあてはまる」100%であったことは、とても好ましい結果だったと思います。あらためてゼミ全体で異文化を調査し、学び合い、励まし合い、皆で講評しながら授業展開するメリットを実感しました。高評価をいただいたのは、ゼミの皆さんの協力があったからこそです。あらためて御礼を申し上げます。
演習ⅢB	竹内 美香	後期は卒業研究のテーマにつなぐために、先行研究論文を精査的に読み込み、調査計画を具体的に考えることに取り組みました。 卒業研究は、大学4年間の集大成になる大きな取り組みです。大学に長く残り、後輩も閲覧する「卒業論文」を書くのです。相当のプレッシャーにもなるのが「卒業論文」の取り組みで、中でもテーマを決めることほど難しい課題はありません。「どこかに卒業論文テーマを売っているお店や自動販売機はないものか」と思う程です。もちろん、そんなものはありません。大学アカデミズムの本質は、とにかく先行研究を渉猟し、自身の問題意識を掘り下げ、現実味のある調査テーマを選択して絞り込み、実施の手続きを現実的に構築することです。 皆さん、ご自身の現時点での研鑽は充分ですか？ 実際の取り組みはこれからです。 学士の学位取得に相応しい取り組みを、ご一緒に続けて参りましょう。
演習ⅢB	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.67と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習ⅢB	井上 綾野	提出者がいないのが残念ですが、他大学との取り組み等、大学の枠を超えてさまざまな課題に取り組めたことが良かったです。
演習ⅢB	角本 伸晃	この授業では丹波篠山と社会連携をしたり、外部コンテストに出たりと、いろいろと取り組んで、ゼミ生も大変だったと思います。 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は5.00と満点が付きましたが、解答者が1人だったのが難点です。
演習ⅢB	神山 静香	わかりやすさや成長の実感等、多くの項目で「とてもよくあてはまる」との評価をいただきありがとうございました。また、肯定的なコメントもいただき大変嬉しく思いました。いただいた評価は次年度に活かしていきたいと思います。
演習ⅢB	高橋 美和	全員の真摯な取り組みのおかげもあり、全項目で平均数値を上回りました。 いただいたコメントより、9月までに実施し数度のフィールドワーク（観察・インタビューを含む）の振り返りや報告書のまとめを通して、深い学びにつながったこと、また、文献を読みレジュメにまとめるという基本的なゼミ・ワークで読み書き能力が鍛えられたこと、などが読み取れました。
演習ⅢB	坊 隆史	アンケートのご回答、ありがとうございました。 本学着任後で初めてのゼミということもあり試行錯誤しながら進めましたが、「成長の実感」「この科目をさらに学びたい」について非常に肯定的に回答してもらって安堵しています。次年度も卒業論文の執筆にむけて一緒に励んでいきましょう。
演習ⅢB	吉田 雅彦	満足度100%でした。 楽しく学べたと思います。
演習ⅢB	竹内 光悦	おつかれさま。気づけばもう1年目が終わりますね。次年度は卒論です。卒論はこれまでのグループワークと異なり、個人ワークになります。もちろんフォローはしていきますので、頑張りましょう。
演習ⅢB	駒谷 真美	全体的にゼミ生は、4月当初から個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともにかなり意欲的に進めてきた。 個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながっている。 グループとして大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の活動においては、月毎の担当グループが、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。メディアゼミの一員として、番組公式インスタの多角的な展開やJJTimesの執筆、常盤祭では通常のパネル展示や動画紹介に加えて、初めてトークショーにチャレンジするなど、更なる高みを目指して奮闘している。 ゼミ生たちが、自己成長度・学習発展度・自己評価度・満足度・意欲度全てにおいて自分自身を高く肯定してくれたことが、成長の証である。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	富田 望	後期のゼミでは、卒業研究にむけて、文献を調べ、研究計画をたてる方法を学んでいただきました。限られた時間の中で仕上げる必要があるため、適切な落としどころを探して、引き続き一緒にまとめていけたらと思います。
演習ⅣB	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習ⅣB	篠崎 香織	卒業論文の執筆、お疲れ様でした。 2年間のゼミ、4年間の大学生活が少しでも有意義であったでしょうか。今後も引き続き頑張ってください。
演習ⅣB	高木 裕子	評価をお願いします。
演習ⅣB	栗津 俊二	回答者1名でした。総合的な満足度が5でしたので、大きな問題はなかったと判断します。
演習ⅣB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習ⅣB	駒谷 真美	4年後期は、就活と卒論の集大成の時期に当たる。今年の4年生も丁寧に準備をしてきて、果敢に挑戦した結果、それぞれに新しい道を見出せることができている。全員が卒論を提出し、無事発表も終わられたことは、今後の自信につながると信じている。
演習ⅣB	原田 謙	各自の卒業論文にもとづく発表など、有意義な議論が出来ました。
演習ⅣB	広井 多鶴子	それぞれ卒論の執筆に真摯に取り組んだと思います。 満足度も高く、成長も実感できたようです。 卒論発表会でのプレゼンテーションもとてもよかったと思います。
演習ⅣB	初見 康行	演習ⅣBでは卒論制作に取り組みました。 皆さんが計画的に進めてくれたおかげで、全員が期限を守って提出することができました。 また、多くのゼミ生が20ページ以上書くことができ、質・量ともに充実した内容になったのではないかと思います。 ゼミ生のみなさん、本当にお疲れさまでした。
演習ⅣB	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は5.00と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習ⅣB	時田 朋子	頑張って卒論に取り組みましたね。楽しくも大変だったと思いますが、大きく成長できました！
演習ⅣB	山根 純佳	予習復習の時間について適切に指導したい
演習ⅣB	阿佐美 敦子	ゼミ生の皆さん、ご回答をありがとうございました。 この授業を通して自身の成長を実感できたと答えた方が、「よくあてはまる」100%であったこと、この授業に満足したと答えた方が、「よくあてはまる」100%であったこと、さらにこの授業に意欲的に取り組んだと答えた方が、「よくあてはまる」86.3%、「どちらかというにあてはまる」16.7%であったことは、好ましい結果だったと思います。この授業の理解度についても全員が「とてもよくあてはまる」すなわちしっかり理解できたと回答しており、あらためてゼミ全体で励まし合い、皆で講評しながら卒論を書き上げるメリットを実感しました。高評価をいただけたのは、ゼミの皆さんの協力があってこそです。あらためて御礼を申し上げます。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	竹内 美香	卒業論文の執筆、成果報告の発表まで、お疲れさまでした。 卒業研究は、大学4年間の集大成になる大きな取り組みです。大学に長く残り、後輩も閲覧する「卒業論文」を書いたわけです。 卒業論文の取り組みには、大学アカデミズムの本質が凝縮されています。先行研究を渉猟し、自身の問題意識を掘り下げ、現実味のある調査テーマを選択して絞り込み、データを収集して統計解析を行うこと、解析結果から過不足なく知見を取り出し、調査仮説の視点で検証考察するのが論文執筆の「取り組み」です。広大で壮大なテーマであるか否かを問わず、この取り組みの過程が貴重です。 仮説は小さなステップで構築します。心理学研究における仮説は、小さいものを重ねて、それは私たちの生活そのものという気がします。 卒業研究を制作する中で、皆さんは「仮説演繹」を主たる手法とする科学のアプローチを体得しました。 卒後の生活場面でも、習得した科学的アプローチのスキルを活かしてください。 それぞれ、自律的によく取り組んで頂きました。
演習ⅣB	井上 綾野	卒論への取り組みは、大変なことが多かったと思いますが、皆さんが立てたテーマに対してどうすれば結論を導くことができるのか、色々と試行錯誤ができていた点が良かったです
演習ⅣB	角本 伸晃	例年、アンケートの回収率が非常に低いのですが、今年は1人でした。ゼミ全員、卒論を完成させ、就職も決まり、良かったと思います。
演習ⅣB	神山 静香	教員からの周知が不十分だったこともあり、回答期間中に回答が得られなかったとの例年にない事態が生じた点を反省しております。毎回の授業時に得た履修者からのフィードバックや指導に対する要望は次年度の授業に活かしていきたいと思います。
演習ⅣB	高橋 美和	全項目の数値が平均的でした。コメントより、卒論への取り組みで「やりぬく力」等が培われたことがわかりました。単に「苦しい」「たいへん」だけでなく、意欲的に取り組むことで充実感や自分の能力向上を感じられたことは、非常に喜ばしいです。個別指導の時間が多かった後期ですが、一人一人の状況に応じた指導がよかったとのコメントもいただきました。みなさん、本当によくがんばりました。
演習ⅣB	坊 隆史	アンケートへの回答のお願いをしておらず失礼しました。 本学着任後で初めてのゼミということもあり試行錯誤しながら進めましたが、全員がそれぞれの関心をテーマにした卒業論文を執筆することができて嬉しく感じています。今後はそれぞれの進路で活躍されるにあたって、ゼミでの学びが活きることを願っています。
演習ⅣB	吉田 雅彦	たいへん満足2/3どちらかという満足1/3でした。 楽しく学べたと思います。
演習ⅣB	竹内 光悦	おつかれさま。4年のゼミも終わりですね。ゼミでの経験を社会でも活かしていきましょう。
応用心理学	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。全項目で全体平均・当該区分平均より肯定的な結果となり、皆さんのご期待に沿えたことを嬉しく感じています。 本科目はオンデマンド授業でありながら、対面の臨場感を再現するため、動画を中断して自分の意見を回答してもらう時間、QRコードを用いてそれぞれのデバイスで動画視聴、ワークなどを取り入れました。また学生―教員間のコミュニケーションをとるために入念なフィードバックを行いました。それゆえ通常のオンデマンド授業よりもアクションが多かったと思います。ご協力をありがとうございました。 皆さんのコメントを参考にして次年度以降もよりよい授業を目指します。
会計学総論Ⅱ	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は5.00と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
会社法	神山 静香	すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。今期の授業では、資格試験や検定試験にも対応できるよう、基本知識を応用して考える問題を多数扱い、説明が数回の授業にわたることもありました。そのため、「授業の満足度」の項目では9割以上が肯定的評価をしており、「授業への意欲的な取り組み」の項目でも、意欲的に取り組んだとの回答が9割を超えていた半面、「説明のわかりやすさ」や「理解度」の項目で例年を下回る結果がありました。この結果を次年度に反映し、補助教材の使い方や事前学修課題や復習課題の出し方等を工夫し、改善したいと思います。

[2024（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
感情・人格心理学	竹内 美香	国家資格・公認心理師の受験資格を取得するためには、学部と大学院でそれぞれ規定されている科目と単位数があります。学部科目として、従来は「感情心理学」「人格心理学」は独立した領域として扱われることが通常だったのですが、（科目設定の制限があったのでしょうか）「感情・人格心理学」として科目名が義務付けられることになりました。そのようになって3年目の今期でした。 人格を記述する研究史を紹介することから始めて、パーソナリティ形成に関わる発達の説明、文化人類学的アプローチ、社会心理学・認知心理学的視点からの説明フォーマットなどを紹介して来ました。精神科診断基準として現行のDSM-5TRも、類型論アプローチとしては看過できない事項です。個々の人間の（特に対人社会的文脈における）行動傾向は、個別的・個体的な生理現象を含む感情反応とも連合します。上記の位置づけにより、（「感情」研究と「パーソナリティ」研究を1つの科目にまとめてしまうことに違和感は禁じ得ないのですが）この科目を構成しました。 受講者の方々からの毎回のワークシートの学びは、柔軟で適応的で、深い思索に至るもののもの見られ、担当者としては安心しました。単位認定できなかった履修者も出現していますが、その方の場合、（他の受講者の提出確率はほぼ100%ですので）極少であったため、最終レポート提出があっても基準のポイントが不足し、それをカバーできなかったという意味です。受講者の公平性を配慮しておりますので、ご理解ください。 講義では時折、時宜に応じて、皆さんの進路活動(就職活動)やライフプラン、アイデンティティの課題にも触れました。考える機会になっていれば幸いです。
経営学概論(A・B・C・D・E・Fクラス)	篠崎 香織	一通りの知識として学んでおくにこしたことがない科目です。引き続き学びたいと思ってもらえるような授業構成として、身近な企業の事例を取り上げてきました、まださらに工夫を凝らして行こうと思います。
経済学概論(A・B・C・D・E・Fクラス)	角本 伸晃	当該科目は、経済学の基礎理論を学ぶ科目なので、数式や計算が登場し、私立文系学生にとっては毎年難しいとの声が聞かれます。その結果、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」では4. 18と当該区分平均4. 39を下回りました。しかし、社会に出たときに経済メカニズムがわからないと経済面で不利な状況に置かれるので、基本的なことはより分かりやすいように工夫をしたいと思います。
健康・医療心理学	竹内 美香	国家資格・公認心理師の学部における受験資格要件科目です。医療と健康の基本と行政制度の両面を配置して構成しました。それぞれが「入口」的で概念的になりました。実務を目指すなら、各単元に専門性は深く、学ぶべき事項も際限なく広がります。今期ご紹介したコンテンツを「地図」として、それぞれの皆さんが今後の専門性に応じて深めてくださることを期待します。専門家のお手本としてお招きした産婦人科専門医のドクターの講義にも、真摯に耳を傾けた受講生の皆さんの姿を心強く思いました。ご自分、ご家族の健康と制度利用に役立ててください。 毎回のWS提出、お疲れさまでした。枠だけに捕らわれず、次第に自由な記述展開が見られるようになったことをとても心強く感じていました。 今期、単位認定できなかった履修者の方もいますが(例年どおりの率ですが)。単位認定した方の提出率がほぼ100%でしたので、履修者全員の公平性を担保する担当者の責務からの判断となります。ご理解ください。
原価計算論	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4. 42に対して、この科目は4. 60と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。

〔2024（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		総合的満足度は87.3%でした。 自由記入では以下の意見でした。 改善点は修正し、評価されたことは引き続き磨きをかけていきます。 授業を受けて良かったこと 様々な業界に対するイメージが変わり、業界研究や企業研究も行うことでよりわかりやすく理解することができ、さらに就職活動に生かせる部分が良いと感じた。 就活をする上で、業界の理解が不十分な点があったのですがこの授業を聞くことで、業界の理解をすることができました。また、授業内で企業のことについて調べるが多かったので、自分が知らなかった企業のことを知ることができて良かったです。
現代企業論	吉田 雅彦	改善を希望する点 他にも外部の方のお話を聞ける機会があるとよいと思った。 前期に受けたキャリアデザイン論と内容がかなり似た内容だったと感じたので、もっと差別化していただくか、シラバスに似たような内容になると記載していただきたかった。 具体的に成長を実感したこと 企業について実際に調べることやグループでの意見交換の場で探求力や発言力がついたと思う 業界を調べることに少し慣れたこと。 これから就職活動などをしっかり考えていかないといけなくなったけど、まず自分が何をすべきかが全く分かりませんでした。でもこの授業をとって様々な業界を調査していく中で今まで興味なかった業界がこんなに楽しそう何だなといろんな気づきを与えてくれた授業だったので、後期でいちばんとってよかったなと思える授業でした。
現代日本経済論	角本 伸晃	現代日本経済のトピックスを中心にいろいろな分野を取り上げる科目なので、各回頭の切り替えが必要だったため、 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.33と当該区分平均4.39を吸い越し下回りました。 引き続き、ためになるトピックスを取り上げて、わかりやすい授業を心がけたいと思います。
言語コミュニケーション開発支援論	高木 裕子	こちらこそいい授業ができました。ご協力感謝致します。
広告・PR論	井上 綾野	PBLも多く大変だったと思いますが、しっかりと取り組めていた点が良かったです。
行政法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
国際ビジネスと法	神山 静香	わかりやすさや授業への満足度等、多くの質問項目で「とてもよくあてはまる」との回答を100%の回答者からいただき、全体平均を上回る評価をいただきました。ありがとうございました。応用的な授業ということもあり、理解度の項目が他の項目と比べて低い数値だったため、この点を次年度の改善点とし、いただいた評価やコメントを次年度に活かしていきたいと思います。また、毎回の授業時のフィードバックを次回の授業に反映させ、補助教材や復習課題等も工夫したいと思います。
国際企業論	吉田 雅彦	満足度100%でした。 決して簡単な内容ではないので、以下のコメントも含め、うれしく思います。 授業を受けて良かったこと 受講生からの質問や解答を匿名で公開してくれるのは、参考になったので良かったです。 短い間でしたがありがとうございました。 ありがとうございました。 改善を希望する点 なし 具体的に成長を実感したこと 日本と海外の企業について理解が深まった 海外進出をしている企業の進出の仕方を比較して、事業別にどのような特徴があるのか考える力が身についた。 国際企業がどのように働いているのか知ることができた。 就活における業界、企業研究を行う際の見のポイントが分かった。 この講義では「コマツ」「日立建機」「資生堂」を重点的に調べたりまとめたりするような講義が多かったため企業にあてはめて授業内容を理解したりこの場合この企業がどのような立ち位置であるのか？といったことを考えてながら授業に取り組むことができました。 実際にある企業を取り上げることで、どのように海外進出していったのかを理解することができた。 企業の国際進出についての理解が深まった。

〔2024（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国際経済論	吉田 雅彦	満足度92.3%でした。 具体的に成長を実感したこととして以下のコメントをいただきました。 経済の理論を身近な出来事に置き換えて考える力が身についた。 世界情勢について無知だったから少しは詳しくなれた。日頃から気にするようになった。 経済学の復習もかねて学ぶことができ、国際的な経済と国内の経済を比較して学び深めることができた。 国際経済に対する知識や過去の政策等を知ることができた。論理的に考える力がついたと思う。
実践デザインラボⅠ	標葉 靖子	授業では、イノベーションや社会的課題解決が求められている分野・現場で実際に活用されているデザイン思考やシステム思考などのフレーム・技法を知り、体験することを重視しました。またアイデアを社会に実装していくにあたって求められる視点についても必ず取り入れるようにしています。自らのアイデアを社会で実現していくためには、段階的により多くのステークホルダーを巻き込んでいく必要があります。本授業で扱った枠組みや考え方はそうした場面で必ず役立つと思いますので、忘れずに日頃から実践していただく。
社会システム論	篠崎 香織	少ない履修者だったので、話し合い、考える時間を多くとりました。普段であれば、少し意識する程度のことをじっくり考えることで、少し見える景色が変わったのではないのでしょうか。 社会システムというのは目に見えにくい概念なので、興味を持ってもらえるように引き続き工夫をしていこうと思います。
社会と統計(A・B・C・D・E・Fクラス)	竹内 光悦	おおむねよかったとは思いますが、この分野をより学びたいという点が低いのはやや前年に思います。今後も多くの分野で使う「統計」ですので、もう少し楽しみながら紹介できればと思います。
社会と統計(G・H・I・J・K・L・Mクラス)	竹内 光悦	決して悪くない数値とは思いますが、将来学びたい科目などではやや低いので、そのあたりは残念でした。実際のところ、今後の大学生活、また社会でもおそらく一番身近な知識だと思いますので、そのあたりがもう少し強調したいところと感じます。
社会学概論(A・B・C・D・E・Fクラス)	原田 謙	成績評価はBが最も多く、続いてA、C、+A、不合格（失格等）の順になりました。授業内での皆さんのレスポンスでの回答は、授業の進行上でも大変有意義でした。2年次以降の演習や講義でも、社会学的なアプローチを活用してください。
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	比較的評価も高いと感じるため、良かったと思います。この講義はセメスターで分かれています。実際には1年間の授業ですので、受講生のみなさんも長ったかと思いますが、よく頑張りましたね。この授業ではより実践力を付けて欲しいと思いますので、今回の内容を踏まえながら次年度に活用したいと思います。
社会調査方法論	原田 謙	成績評価はAが最も多く、続いてB、+A、C、不合格（失格等）の順になりました。今後のゼミや卒業研究で、ぜひ社会調査方法論で学んだ内容を活かしてください。
社会文化事業論	高木 裕子	評価をお願いします。
消費者心理学	井上 綾野	皆さんの普段の買物行動を、モデルを使って上手く説明できるようになっていた点がとても良かったです。
障害者・障害児心理学	富田 望	グループディスカッションやワークの良さをコメントして下さっている方が多く、授業内で皆さんに主体的に考えていただく時間を設けて良かったと思いました。本科目での学びを、これからの生活にもぜひ活かしていただけたら幸いです。
心理演習	富田 望	沢山の事例検討やロールプレイングなど大変だったかと思いますが、1人1人が主体的に考え、仲間と協力しながら議論を深めている様子がとても印象的でした。

〔2024（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理学概論 (G・H・I・J・K・L・Mクラス)	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。 大教室・大人数（約170名）の必修科目ということもあり、多様な学びに興味をもつ皆さんに心理学という学問を知っていただくことを目指して授業を進めました。その結果、アンケート結果はおおよそ全体平均に近い数値となりました。心理学に興味のある方もそうでない方も人間社会学を学ぶ学生として心理学の基本を押さえたうえで専門分野を深めてほしいと願っています。 また、「声が聞きとりにくかった」「映写スライドが見えにくかった」という回答や記述が何点かみられました。これらは次年度以降、改善できる点は改めます。ご意見ありがとうございました。ただ、教室前方は座席にかなりの余裕がありました。もし聞こえない、見えないようでしたら教室後ろ半分に固まらずに自らの判断で前方に着席いただくと良いかと思います。個人差の大きい五感に関する授業環境は全員の要望に沿いきれないこともありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
心理学実験Ⅱ	粟津 俊二	総合的な満足度が4以上ですので、大きな問題はなかったと判断します。
心理学的支援法	富田 望	問題や課題を客観的に考え、発見する力が身に付いたというご意見や、ワークを通して心理学的支援について体験的に学べたというご意見が多く、大変嬉しく思いました。今回の学びを、ご自身のストレスマネジメントやセルフモニタリングに活かしていただけたら幸いです。
心理学統計法	粟津 俊二	総合的な満足度が4以上ですので、大きな問題はなかったと判断します。
心理実習	竹内 美香 粟津 俊二 富田 望 坊 隆史	後期も事前・事後の課題も含めてなかなか分厚い取り組みとなりました。後期は特に通勤型の活動実習もありましたので、「なぜこんな大変なことをしなければならぬのだろう」と感じる場面もあったかもしれません。 皆さんの指導の責務を負う大学教員も、そして受け入れ先のご担当も、全員「次世代の心理士（公認心理師とヒューマンサービス・スタッフ）」育成の使命感で取り組んできたのです。そのミッション、熱い思いを感じてください。 「心理実習」を履修しなければ得られないような現場を知る経験があったと思います。とても貴重だったはずです。今期の経験を、今後のご自身の取り組みに活かせるよう、大切に憶えておいてください。
神経・生理心理学	間野 陽子	神経・生理心理学では、心理学の現象を通じて、脳の構造、高次認知機能の仕組みと障害について学びました。また、本講義で取り扱った新しい知見などを学び、理解することにより、自らの思考力を高め、疑問に思ったことを自ら調べることによる自己主導型学修の習慣を身に着けることができるようになりました。みなさんが、日常生活において疑問に思い、思考し、悩み、感じることなどは全て脳内で処理されることにより知覚することができま す。脳の認知メカニズムを知ることによって様々な障害についての理解も深まります。みなさんが学んだ知識を、自分自身について見つめなおしたり、問題が生じたときの解決方法や、社会の中での多様性を理解することに役立てていただければ幸いです。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	配布資料の閲覧とmanabaでの質疑応答の形で行いました。小テストの提出率も良好であり、期末テストの結果からも教育的な成果を上げていると考えられます。引き続き資料を更新しながら閲覧可能な写真や図についても示すようにしていきます。
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	精神疾患の概念、症状・徴候、治療について概説しました。精神徴候は資料だけではわかりにくいところもあると思いますが、まずはテキスト的な知識をしっかりと持っていたいただけたと思います。症例を提示するのは難しい点もありますが具体的なイメージを持っていたくためにあえて自験例を再構成したものを提示しました。精神疾患のある人とのかわりは常に真剣勝負であることを伝えていきたいと思います。
地域経済論	角本 伸晃	この科目はオンデマンド授業のため、学生1人1人の顔が見えず、理解してくれたか否かの手ごたえがわかりりせんでしたが、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4. 45と当該区分平均4. 39を上回りました。充実した教材作成を心がけたいと思います。
調査・実験データ処理法	竹内 光悦	おおむね評価が悪くないため、このままと思いますが、次年度からはRで進めるなど少し変えていきたいと思います。今年の結果よりもさらにより良くなるように目指したいと思います。
福祉社会学	山根 純佳	わかりやすい授業作りのために工夫したい。
簿記論Ⅱ	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4. 42に対して、この科目は4. 70と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
簿記論Ⅱ	小澤 康裕	例年通りの結果だと思います。引き続きより良い授業になるように努力します。
法律学概論 (G・H・I・J・K・L・Mクラス)	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。